

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	実用の書	2	2年次・E2群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
硬筆書写技能検定三級のドリル （一般財団法人 日本書写技能検定協会編）		ボールペン 小筆		・硬筆書写技能検定3級を受験する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
グローバルに変化する社会の中、硬筆書写の技能を高め、活字では味わえない温もりと相手の心情が感じられる「手書き文字」のすばらしさを大切に、豊かな情操を育む。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
手書き文字に関する専門的な内容について理解を深めるとともに、創造的に表している。	手書き文字に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、書道の文化的価値などについて考え、創造的に思考、判断、表現している。	主体的に手書き文字に関する専門的な学習に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	1 筆記用具について （1）様々な筆記用具	4	・様々な用具の特徴確認と用途に応じ活用する技能を身に付ける。	1
		2 漢字の表現 （1）楷書 （2）部首と筆順 （3）行書の特徴	5		
		3 漢字仮名交じり文 （1）漢字と仮名の調和 （2）さまざまな文字との調和	6 7	・基本点画と字形について理解する。 ・部首について理解する。 ・筆脈に影響する筆順について理解する。 ・連続、変化、省略について理解する。 ・平仮名に調和する漢字表現を身に付ける。 ・美しい字配りの技能を身に付ける。	1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 3
	2 学 期	4 ハガキの形式	9	・文字の大きさ、配置について理解する。 ・受け手の心情を敬う形式を身に付ける。	1 2
		5 掲示文	10	・効果的なレイアウトを身に付ける。	1 2
		6 草書を読む	11	・書体の変遷について理解する。 ・受け手の心情を敬う形式を身に付ける。 ・硬筆検定を受験する。	1 2
		7 生活の中の書 （1）時節のあいさつ状	12	・年賀状を書き、日常生活に生かす。	1 2 3
	3 学 期	（2）履歴書 （3）心に響くことば	1 2 3	・横書きにおける文字の大きさと体裁について理解する。 ・届けたい思いを形に表現する。	1 2 1 2 3

令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	観点	1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
学 習 評 価	規 準	○手書き文字に関する専門的な内容について理解を深めるとともに、創造的に表しているか。	○手書き文字に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、書道の文化的価値などについて考え、創造的に思考、判断、表現しているか。	○主体的に手書き文字に関する専門的な学習に取り組もうとしているか。
	手 段	・制作の様子 ・自己評価表 ・作品	・制作の様子 ・自己評価表 ・作品	・制作の様子 ・自己評価表 ・作品
		単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法	単元末や学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。	
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料3000円と別途、教材費として1000円程度徴収します。 ・定期考査は行わないので、積極的に授業に参加すること。 			